

株式会社 クラレ

本社

〒100-8115 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル
TEL 03-6701-1000 FAX 03-6701-1005

大阪事業所

〒530-8611 大阪市北区角田町8-1 梅田阪急ビル オフィスタワー
TEL 06-7635-1000 FAX 06-7635-1005

くらしき研究センター

〒710-0801 岡山県倉敷市酒津2045-1
TEL 086-423-2271 FAX 086-422-4851

つくば研究センター

〒305-0841 茨城県つくば市御幸が丘41
TEL 029-853-1500 FAX 029-853-1543

倉敷事業所

〒713-8550 岡山県倉敷市玉島乙島7471
TEL 086-526-5111 FAX 086-525-2222

西条事業所

〒793-8585 愛媛県西条市朔日市892
TEL 0897-56-1150 FAX 0897-56-9522

岡山事業所

〒702-8601 岡山県岡山市南区海岸通1-2-1
TEL 086-262-0111 FAX 086-264-1021

新潟事業所

〒959-2691 新潟県胎内市倉敷町2-28
TEL 0254-43-2521 FAX 0254-43-2864

鹿島事業所

〒314-0197 茨城県神栖市東和田36
TEL 0299-96-1011 FAX 0299-96-3932

鶴海事業所

〒705-0025 岡山県備前市鶴海4342
TEL 0869-65-8331 FAX 0869-65-8341

関係会社(国内23社、国外85社)

【国内】

クラレトレーディング株式会社

〒530-8611 大阪市北区角田町8-1 梅田阪急ビル オフィスタワー
TEL 06-7635-1600 FAX 06-7635-1971

クラレノリタケデンタル株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル
TEL 03-6701-1700 FAX 03-6701-1805

クラレプラスチックス株式会社

〒530-8611 大阪市北区角田町8-1 梅田阪急ビル オフィスタワー
TEL 06-7635-1500 FAX 06-7635-1528

クラレエンジニアリング株式会社

〒530-8611 大阪市北区角田町8-1 梅田阪急ビル オフィスタワー
TEL 06-7635-1890 FAX 06-7635-1898

クラレテクノ株式会社

〒530-8611 大阪市北区角田町8-1 梅田阪急ビル オフィスタワー
TEL 06-7635-1400 FAX 06-7635-1430

クラレクラフレックス株式会社

〒530-8611 大阪市北区角田町8-1 梅田阪急ビル オフィスタワー
TEL 06-7635-1560 FAX 06-7635-1561

クラレファスニング株式会社

〒530-8611 大阪市北区角田町8-1 梅田阪急ビル オフィスタワー
TEL 06-7635-1870 FAX 06-7635-1860

【海外】

クラレアメリカ(米国現地法人)

2625 Bay Area Boulevard, Suite 600 Houston, Texas 77058, U.S.A.
TEL +1-281-283-1711 FAX +1-281-283-1722

クラレヨーロッパ(ドイツ現地法人)

Philipp-Reis-Straße 4 D-65795 Hattersheim am Main Germany
TEL +49-69-305-85300 FAX +49-69-305-85399

クラレアジアパシフィック(シンガポール現地法人)

10 Sakra Ave., Singapore 627887
TEL +65-6867-7088 FAX +65-6867-7103

クラレ管理上海(中国現地法人)

Unit 2207, 2 Grand Gateway, 3 Hongqiao Road, Xuhui District,
Shanghai 200030, China
TEL +86-21-6119-8111 FAX +86-21-6119-8585

クラレインディア(インド現地法人)

Prius Platinum, 2nd floor B wing, Rear side, D3 district centre,
Saket New Delhi-110017, India
TEL +91-11-4090-4400 FAX +91-11-4090-4411

クラレサウスアメリカ(ブラジル現地法人)

Av.Paulista, 1636 – Condominio Paulista Corporate, sala 405 – Bela
Vista, CEP 01310-200 – São Paulo – SP – Brasil
TEL +55-11-2615-3531 FAX +55-11-2615-3529

さまざまな情報を盛り込んだ当社公式ホームページもどうぞご覧ください。

<https://www.kuraray.co.jp/>

kuraray

Corporate Sketch

【私たちの使命】

私たちは、独創性の高い技術で
産業の新領域を開拓し、
自然環境と生活環境の向上に寄与します。
一世のため人のため、
他人のやれないことをやる—

きのうよりもきょう、きょうよりもあしたの世の中が良い方向に変化していくように、
クラレは化学の力で、いままでにないもの、人に真似できないものを創出してきました。
現在では、世界中の多くの産業や人々の生活の中で、クラレの技術や製品・サービスを選んでいただいています。
私たちはこの事実を誇りに思い、全世界のお客様に心から感謝の意を表します。

クラレが創業当時から大切にしてきたこと、それはやがて来る世の中と、そこに生きる人々のために、
常に私たちにできることを考えるという「独創」の精神。
「世のため人のため、他人のやれないことをやる」という使命は、絶えることなく引き継いできた私たちの原動力です。

さらなる独自性を追求し、社会と環境に貢献する企業へ。そして、さらに成長し続ける企業をめざして。
クラレはすでに次の一步を踏み出しています。



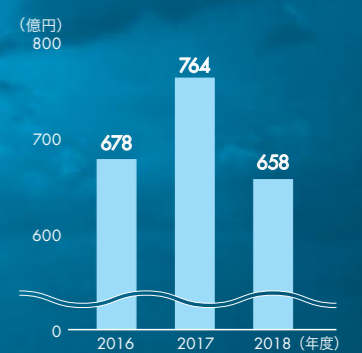
会社概要

社名 株式会社クラレ	従業員(連結) 10,768名(2018年12月末現在)
代表者 代表取締役社長 伊藤 正明	売上高(連結 決算期12月) 6,030億円(2018年度)
設立 1926(大正15)年6月24日	主要海外拠点 米国、ドイツ、ベルギー、 中国、シンガポール
資本金 890億円(2018年12月末現在)	

売上高推移



営業利益推移



History 90年以上積み重ねてきた信頼と実績

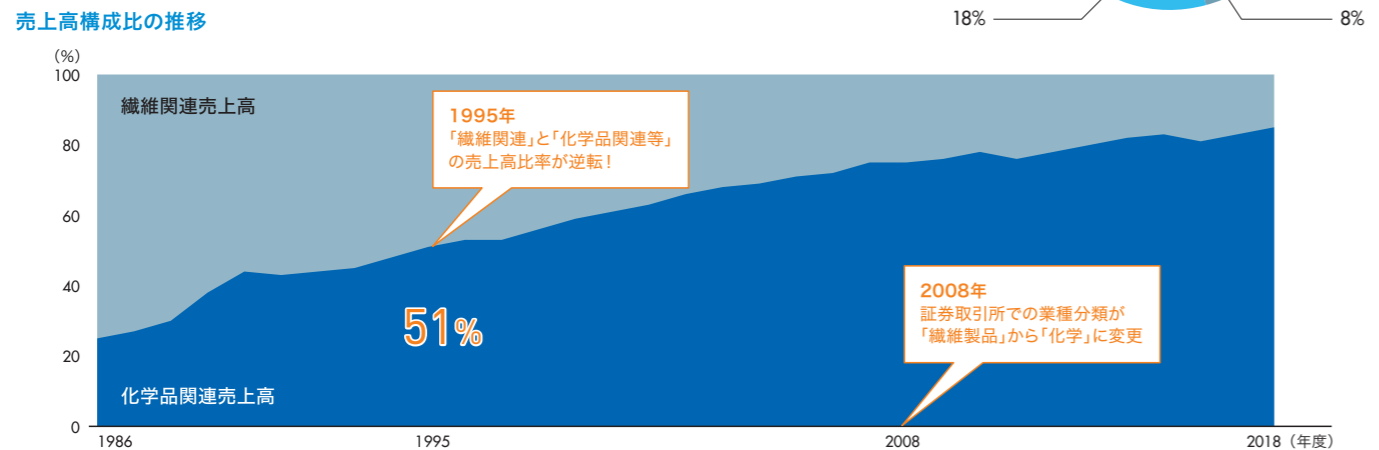
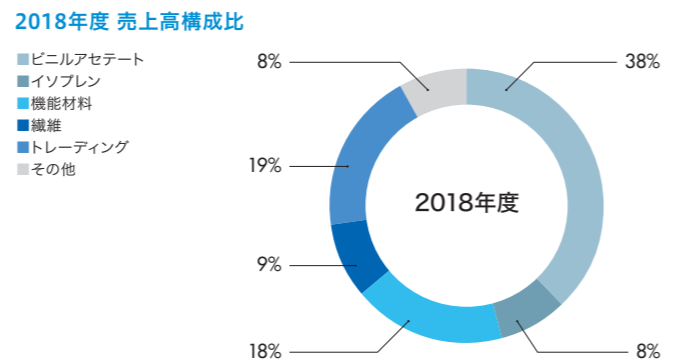
1926年、創業者・大原孫三郎は、当時の先端技術であった人造絹糸レーヨンに着目し、岡山県倉敷市を事業展開の拠点として倉敷絹織（現クラレ）を創立しました。第二次世界大戦後の1950年には、わが国初の合成繊維として、世界に先駆けてPVA（ポバール）繊維ピニロンの工業化に成功し、日本における化繊産業の草創期を牽引しました。1960年代

には日本とまだ国交のなかった中国へのピニロンプラント輸出を成功させ、戦後の高度経済成長にも大きく貢献しました。その後も時代の趨勢を的確にとらえ、高分子・合成技術をベースにした高性能繊維、樹脂、化学品分野で世界に先駆けた製品の工業化・事業化を実現しています。

- 1926年**
 - 倉敷絹織(株)創立
- 1928年**
 - 倉敷工場でレーヨン糸生産開始（～2001年生産終了）
- 1949年**
 - 社名を倉敷レイヨン(株)に変更
- 1950年**
 - ピニロン事業化：富山工場でポバール生産開始
 - 岡山工場でピニロン生産開始
- 1958年**
 - ポバール事業化：市販用ポバール生産開始
- 1962年**
 - 西条工場でポバールフィルム生産開始
- 1963年**
 - 中国とポバール・ピニロンの一貫製造プラントの輸出契約締結
- 1964年**
 - ポリエステル事業化：玉島工場でポリエステル短繊維<クラレエステル>生産開始
 - 面ファスナー事業を開始
 - <クラリーノ>事業化：倉敷工場で人工皮革<クラリーノ>生産開始
- 1969年**
 - 西条工場でポリエステル長繊維<クラベラ>生産開始
- 1970年**
 - 社名を現在の(株)クラレに変更(英名 KURARAY CO., LTD.)
- 1972年**
 - <エパール>事業化：岡山工場でEVOH樹脂<エパール>生産開始
 - 不織布事業を開始：岡山工場で乾式不織布<クラフレックス>生産開始
 - イソプレンケミカル事業を開始：鹿島工場でポリイソプレンゴム生産開始
- 1978年**
 - 歯科材料事業を開始：歯科充填材<クリアフィル>発売
- 1989年**
 - メタクリル樹脂事業を行う協和ガス化学工業(株)を合併
- 1990年**
 - 西条工場で高強力ポリアリレート繊維<ベクトラン>生産開始
 - <セプトン>事業化：鹿島工場で熱可塑性エラストマー<セプトン>生産開始
- 1999年**
 - 西条工場で耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>生産開始
- 2001年**
 - クラリアント社のPVA・PVB事業を買収
- 2004年**
 - HTトロボラスト社のPVBフィルム事業を買収
- 2011年**
 - 新潟事業所でアクリル系熱可塑性エラストマー<クラリティ>生産開始
- 2012年**
 - 産業用ポバールフィルム事業を行うモノソル社を買収
- 2014年**
 - デュボン社のビニルアセテート関連事業を買収
- 2015年**
 - バイオマス由来のバリアフィルム事業を行うプランティック社を買収
- 2018年**
 - 活性炭事業を行うカルゴン・カーボン社を買収

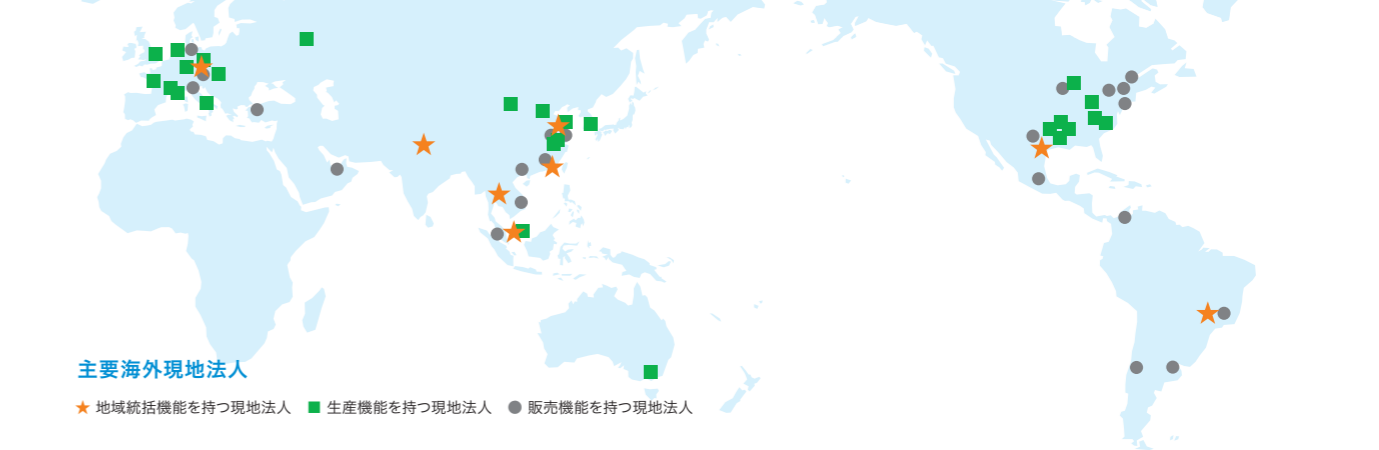
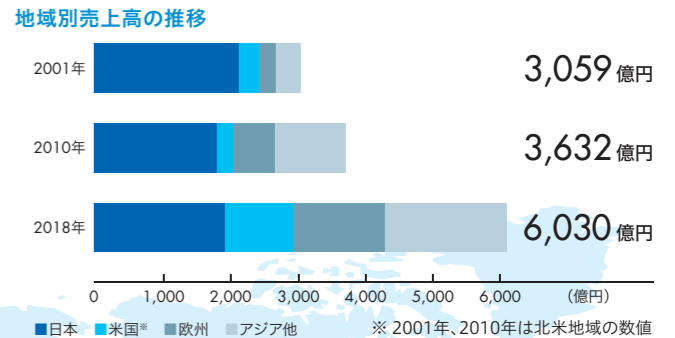
Business 社会のニーズに合わせて変化してきたクラレ

現在、クラレの事業ポートフォリオは、ビニルアセテート、イソプレン、機能材料、繊維、トレーディングによって構成されています。創立以来、繊維素材分野を中心に発展してきたクラレは、1985年頃には繊維関連事業の売上高が約80%を占めていました。しかし、1980年代後半以降の社会的ニーズと事業環境の変化にいち早く対応すべく、繊維関連事業の効率化を進める一方で独自技術を活かした化学品関連事業へと徐々にビジネスの重心をシフトしていきました。その結果、2009年には繊維関連売上高が25%、化学品関連等売上高が75%となり、事業構造の転換を図ることでビジネスフィールドを拡大しました。



Global 世界32カ国、108社に広がるクラレの技術

クラレは、1986年、米国合併会社でのEVOH樹脂<エパール>の現地生産開始によって海外市場への足がかりを築き、グローバル市場の広がりに応える生産・販売の現地化を急速に推進しました。2014年のデュボン社のビニルアセテート関連事業買収、2018年のカルゴン・カーボン社買収によって、現在では32カ国、108社へとネットワークを飛躍的に拡大。「適地生産・適地販売」の方針のもと、独自の技術を駆使して海外事業を展開しています。販売面でも独自のグローバルネットワークを構築し、連結売上高に占める海外売上高比率は68%（2018年12月期）に達しています。地球温暖化など全地球的な課題解決への貢献という重要ミッションも、クラレのグローバルな事業展開の原動力となっています。



Quality クラレの独創性を支える研究開発・生産技術開発体制

コーポレート研究開発を担う研究開発本部には、くらしき研究センター、つくば研究センターおよびKAI Corporate R&D(米国)、機能製品開発部、成形部材事業推進部、ベクスター事業推進部、知的財産部、市場開発部、企画管理部を擁しています。

各事業部は、クラレグループの拠点事業所に開発部署を有しています。海外の拠点も含め、コーポレートと事業部の研究開発・生産拠点とは緊密な連携を取りながら研究開発を推進しています。

研究センターでは、有機／高分子合成技術、触媒化学、酢ビ系高分子材料関連技術、炭素材料関連技術、電池材料設計技術、精密重合および変性、成形材料、成形加工、計算化学を基盤技術とし、新事業、新規製品、新技術の研究開発を推進しています。また、研究開発機能に加え、分析・解析技術、安全性評価技術により、クラレグループ全社の分析・解析センターとして技術課題の解決に取り組んでいます。

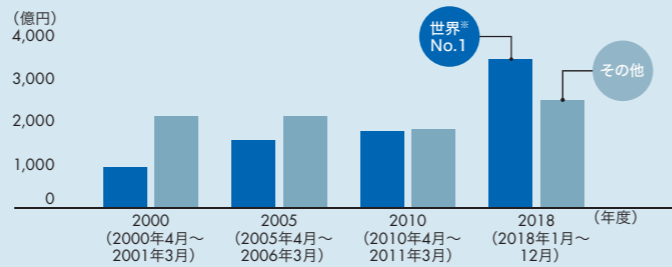
コーポレートの生産技術開発を担う技術本部には、技術開発センター、設備技術統括部を擁しています。各カンパニーの生産技術統括本部、各事業所の生産技術開発部と連携しながら、生産技術開発を推進するとともに、研究開発本部とも開発の初期から連携し、新事業、新規製品開発の加速を図っています。また2018年より、全社の研究開発、生産技術領域のデジタル戦略を技術本部主導で推進しています。



独創性が生んだクラレの幅広い製品

クラレは独自の技術力で、世の中になかった製品を生み出してきました。国産技術による初の合成繊維ビニロンを世界に先駆けて事業化したのはじめ、ビニロンの原料樹脂であるポパール樹脂、液晶ディスプレイに欠かせないポパールフィルム、高いガスバリア性を誇るEVOH樹脂<エバル>、世界唯一の合成法イソプレンから生まれるケミカル製品群などを展開。独創的な技術から生まれた世界シェアNo.1事業*の売上高は、グループ全体の半分以上にも達しています。

世界シェアNo.1事業*の拡大



ビニルアセテート系事業

<クラレポパール>ポパール樹脂

合成繊維ビニロンの原料樹脂として工業化されたポパール樹脂は、水溶性、造膜性、接着性、乳化性、耐油性、耐薬品性などの特性を持ち、紙加工剤、接着剤や塩化ビニル樹脂の重合安定剤などのさまざまな用途で使用されています。



世界 No.1

光学用ポパールフィルム

薄型大画面テレビ、タブレット端末などの液晶ディスプレイに欠かせない偏光フィルムに使用されています。



世界 No.1

<モビタール>PVB樹脂

<トロシフォル>PVBフィルム/アイノマーシート

PVB樹脂<モビタール>は接着性と透明性に優れ、主にペンキ、塗料、インク、セラミックのバインダー、接着剤などの用途に使用されています。<トロシフォル>は建築、自動車、太陽電池分野で合わせガラス中間膜として使用されています。構造的・機能的中間膜であるPVBフィルム<トロシフォル>/アイノマーシート<セントリガラス>を使用することで合わせガラスの安全性、遮音性、紫外線防護性、装飾性、透明性を高めることができます。アイノマーシート<セントリガラス>はPVBフィルムに比べ5倍の硬度と100倍の強度があります。



<プランティック>バイオマス由来のガスバリア材

オーストラリアの産学連携研究から生まれた、バイオマス原料由来のガスバリア材です。2003年の商業化以後、豪州および欧米の大手リテラー、食品メーカーで環境対応素材として採用が進んでいます。



※2015年に当社がプランティック社を買収

水溶性ポパールフィルム

洗剤、農薬などの個包装用フィルムなど、幅広い分野で使用されています。



世界 No.1

<エバル>EVOH樹脂

プラスチックの中で最高レベルのガスバリア性(気体を通さない性質)を持つ樹脂です。酸素を遮断し内容物の劣化を防ぐため、食品包装材として普及しています。また、ガソリンの揮発を防ぐため、自動車のガソリンタンクにも使用されています。さらに、大型冷蔵庫の真空断熱板にも採用され、省エネに貢献するなど、用途を拡大しています。



世界 No.1

イソプレン系事業

<セプトン>熱可塑性エラストマー

スチレン系熱可塑性エラストマー<セプトン>は、成形性、リサイクル性に優れており、自動車、家電、雑貨などに用いられる各種部材の高機能化ニーズとともに、幅広い分野での採用が拡大しています。



イソプレンケミカル

安全性が高く、取扱性に優れた洗浄剤<ソルフィット>をはじめ、独自の合成技術を活かしたジオール、香料品、医薬、農業中間体などを展開しています。



世界 No.1

<クラプレン>液状ゴム

イソプレン、ブタジエン等を原料とした低分子量の液状ゴムで、その特長を活かした自動車用タイヤの加工助剤、高機能粘接着剤やシーリング材などの用途を中心に展開しています。



<ジェネスタ>耐熱性ポリアミド樹脂

独自の技術から生まれた新しい耐熱性ポリアミド樹脂。携帯電話やパソコンなどの電子部品はもちろん、LED液晶テレビのバックライト用途や、自動車分野にもその用途は拡大しています。



世界 No.1

※世界で初めて工業化したPA9T樹脂

<クラリティ>アクリル系熱可塑性エラストマー

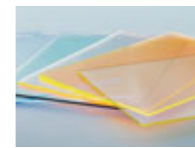
透明性・柔軟性などの特長を有し、当社が独自技術によって世界で初めて工業化に成功したオンリーワン素材です。その特長を活かした粘接着および成形材料分野での市場展開が有望視されています。



機能材料事業

メタクリル樹脂

メタクリル樹脂は、透明性、耐候性、光沢性、耐擦傷性などの特長を有し、自動車部品、家電部品、雑貨などに幅広く採用されています。また、液晶ディスプレイ向け、導光体などの光学部品用途で高いシェアを持っています。



活性炭

2018年、世界No.1の活性炭メーカーとして活性炭事業は新たなスタートを切りました。石炭系、ヤシ殻系、木質系をラインアップし、さまざまなタイプの活性炭を供給しています。水処理用途、空気浄化におけるトータルソリューションならびに蒸散ガソリンの吸着用途、キャパシタの電極材用途など、高付加価値品により環境、エネルギー分野に貢献しています。



世界 No.1

歯科材料

クラレノリタケデンタルは、高分子化学技術による有機系、セラミック技術による無機系の各種歯科材料を開発。天然歯に近い歯科修復を可能にしました。国内だけでなく、世界各地で高い評価を得ています。

※歯科用コンポジットレジン・ボンディング材、歯科用陶材分野において



国内 No.1



繊維事業

ビニロン/<クラロンK-II>PVA繊維

高強力、低伸度、親水性などのユニークな機能を持つ合成繊維ビニロンは、アスベスト(石綿)代替のセメント補強材、乾電池のセパレーターなど産業資材分野に展開。また、新たな生産技術から生まれた<クラロンK-II>は、水溶性や高強力の特徴を持つ新しい繊維です。

※中国を除く



世界 No.1

<ベクトラン>高強力ポリアリレート繊維

同一重量のスチールの約7倍の引張強度に加え、耐摩耗性、耐屈曲疲労性、耐薬品性などの物性を備えており、航空宇宙、複合材、電子部品、ロープ、スポーツ用品などの用途で採用されています。



世界 No.1

<マジックテープ>面ファスナー

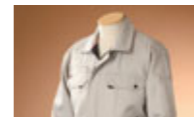
ワンタッチでしっかり留めることができるので、衣料や靴、かばん、メディカル製品から自動車部材などの工業資材まで、さまざまな分野で活躍しています。



国内 No.1

ポリエステル

独自ポリマーの応用などにより特徴ある素材を開発し、衣料分野や産業資材分野、不織布の原料などに展開しています。



<クラフレックス>不織布

吸水性、吸塵性、通気性、柔軟性に優れた<クラフレックス>は各種ワイパーやマスク、救急絆創膏などに使用されています。また、スチームジェット製法による不織布<フェリベンディ>や液晶ポリマー不織布<ベクルス>等は、それぞれの特長を活かし、伸縮包帯や電子材料として使用されています。



新事業 その他

<ベクスター>液晶ポリマーフィルム

当社が独自の製膜技術により開発した液晶ポリマーフィルム。高速伝送回路に適した高周波特性を持っており、電子回路基板用の絶縁材料として優れた性能が認められています。現在、高速伝送フレキシブル回路基板や多層回路基板向けを中心に展開しています。



<クラノード>

リチウムイオン二次電池負極用ハードカーボン

リチウムイオン二次電池の負極材に用いられる、植物を原料としたハードカーボン(難黒鉛化性炭素)です。良好な入出力特性、サイクル特性、低温特性を有します。



<ゼクルス>排水処理システム

<ゼクルス>は、生物処理槽に自社開発のPVAゲル<クラゲル>を採用した、省スペース型の排水処理システム。従来の活性汚泥法に比べ、廃棄処理が必要な余剰汚泥をほとんど発生させないという画期的なシステムです。



高性能膜モジュール

当社の高性能膜モジュールは、産業、水道、医療の各分野での水処理に採用されています。超純水、飲料水、無菌水の製造など幅広い領域でのろ過が可能で、効率的なろ過性能により省スペース化を実現できることが特長です。



半導体用研磨パッド(CMPパッド)

人工皮革<クラリーノ>で培ったポリウレタンの設計および製造技術を駆使し、従来になく高硬度ポリウレタンを原料にしています。高硬度なため研磨するデバイスを平坦にする能力が優れること、高硬度でありながら研磨傷が少ないこと、耐摩耗性が優れるため長時間使えることなどが特長です。



ヘッドアップディスプレイ用微細パターン付きフィルム

微細なパターンを多数配列したマイクロレンズアレイで構成されたフィルムがプロジェクション方式のヘッドアップディスプレイで精細な画質を実現します。精密なレンズ形状により、光利用効率が高く、省エネにも貢献します。

